

いしのまきNN通信

Nougyo Nouson

Agriculture & Farm Village

発行日 令和3年7月29日



(上品山から望む石巻管内の風景)

「いしのまきNN通信」は、石巻地域の農業農村整備事業に関連する活動等を広くお知らせすることを目的に、年3回発行しています。掲載希望の情報等がありましたら農村振興班までご一報ください。今後ともよろしく申し上げます。

第49号の目次：

長面工区の営農再開状況	P.1
農業農村整備技術研修会 所内発表	P.2
宮戸背後農地利活用の状況	
二俣南地区権利者会議の開催	P.3
農地集積指導チーム会議の開催	
石巻産オリーブの生育状況	
奥松島産桃の生育状況	P.4
田んぼの学校2021の実施	

ながつら 大川地区の長面工区で 全面的に営農が再開されました



▲現在の長面工区の様子（令和3年6月25日撮影）



▲（参考）平成28年6月30日撮影

大川地区は旧河北町、新北上川の河口右岸に位置しており、東日本大震災の津波で大きな被害を受けました。地区の農用地面積は、上流の針岡工区168.6haと下流の長面工区215.4haを合わせた384.0haです。

針岡工区では平成25年度に農地の復旧・復興工事が完成し、平成26年度から全面的に営農が再開されています。

一方、長面工区では、北上川や海岸堤防の決壊によって長期間にわたり広く農地が水没していたため、農地や長面排水機場など農業水利施設の復旧・復興工事が遅れていました。平成26年度から27年度にかけて試験作付を行って塩害の影響がないことを確認し、平成28年度には震災後、最初の営農が実に6年ぶりに再開されました。

そして昨年度、すべての農地の復旧・復興工事が完成し、今年度ついに全面的な営農再開を迎えることができました。長面工区では、水稻のほかに大豆の栽培も行われています。

農業農村整備技術研修会 所内発表を行いました



▲所内発表の様子

令和3年3月23日、東部地方振興事務所内で農業農村整備技術研修会の所内発表が行われました。

発表内容は「宮戸地域における農地利用による地域活性化の取り組み」というタイトルで、令和2年度農業農村整備技術研修会にて最優秀賞を受賞したものです。

東日本大震災で被災した東松島市奥松島地区の背後農地について、復旧後、地域活性化も視野に入れた上でどのように活用していくのか、自治体と地元の方々が協働して行った取り組みについて、当部玉置技術主査（当時）が発表しました。

宮戸地域背後農地利活用「Challenge in 宮戸」を実施中です

奥松島地区宮戸での背後農地利活用プロジェクト「Challenge in 宮戸」。

昨年は宮戸のほ場にてアスパラガス、さつまいも、ミニトマトなどを作付けしました。収穫したミニトマトを用いてピザを作ったり、土地利用支援のワークショップを実施したりしました。

今年も宮戸のほ場にて、昨年度のワークショップの中で提案された「青空レストラン」の実現に向け、野菜の栽培を続けています。

県、市、そして地元の有志が集まり、5月にはアスパラガス、6月にはさつまいも・トマトを作付けしました。今後もほ場での作業を続けていく予定です。



▲ほ場の土をならす様子



▲マルチ張りの様子



▲さつまいもの作付け



▲トマト作付け後のほ場



▲ほ場（6月上旬）

二俣南地区で権利者会議が行われました



▲二俣南地区での権利者会議の様子

令和3年6月30日、農村地域復興再生基盤総合整備事業「二俣南地区」の権利者会議が行われました。

権利者会議とは、農地整備事業前後の土地の区画や権利を決定する「換地計画書」を土地の権利者の方に議決していただくものです。

今回の権利者会議では、権利者の方々から法定数を満たす賛成をいただき、当換地計画が承認されました。

第1回農地集積指導チーム会議を開催しました



▲チーム会議の様子

令和3年7月7日、第1回農地集積指導チーム会議を開催しました。

ここでは、県、市、土地連、農業振興公社などの関係機関が集まり、農地集積目標の実現に向けての情報共有や検討が行われました。

これを受けて、各地区において農地集積戦略会議が行われます。

石巻産オリーブが順調に成長しています



▲開花したオリーブ（6月下旬，北上(原)地区）

石巻市では市を事務局とする研究会が主体となって、オリーブの栽培に取り組んでいます。

その中の北上（原）地区ほ場は、県営ほ場整備事業北上地区の一部として、換地の手法により用地が確保されました。ここでは、秋の収穫に向けて、今年も順調にオリーブが成長しています。

奥松島で桃の袋掛けが実施されました



▲桃の木（6月上旬，奥松島宮戸6分区）

奥松島地区宮戸では、元々水田だったほ場を転作し、「奥松島果樹生産組合 いちじくの里」が平成28年から桃やいちじくを栽培しています。

今年も桃の木には沢山の実がなり、6月上旬に摘果・袋掛けが実施されました。

桃は7月～8月にかけて収穫される見込みです。

「田んぼの学校」が開催されています

管内の小学校では、「田んぼの学校」として田植え体験や生き物調査などが行われています。

「田んぼの学校」は、多面的機能支払交付金事業の活動組織や管理体制整備推進協議会の普及・啓発活動としての側面も持っているため、県、市、土地改良区、同事業活動組織なども参加しています。

どの小学校の児童たちも、それぞれの体験に対して同級生同士で協力したり、疑問に思ったことを積極的に質問したりして、農業・農村への親しみと理解を深めてくれています。

《今年度実施状況（7月現在）》

写真番号	小学校名	実施日	実施内容	主催団体
①	広淵小学校	5月13日	田植え体験	広淵ふるさと保全会
②, ④	北上小学校	5月26日, 6月25日	田植え体験, 生き物調査	北上地区保全会
③	鹿又小学校	6月25日	出前講座・施設見学会	鹿又ふるさと保全会 河南矢本地区管理体制整備推進協議会
⑤	鳴瀬桜華小学校	7月1日	生き物調査	東松島地区管理体制整備推進協議会
⑥	前谷地小学校	7月14日	出前講座・生き物調査	前谷地ふるさと保全会, 河南矢本地区管理体制整備推進協議会



① 5/13 広淵小（田植え体験）



② 5/26 北上小（田植え体験）



③ 6/25 鹿又小（施設見学会）



④ 6/25 北上小（生き物調査）



⑤ 7/1 鳴瀬桜華小（生き物調査）



⑥ 7/14 前谷地小（生き物調査）

「石巻圏域の農業農村整備2021-2022」

「石巻圏域の農業農村整備2021-2022」が完成しました。

東部管内における実施事業・事業概要や東日本大震災からの復旧・復興状況などを掲載しております。

当部HPにもPDFを掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

〈東部地方振興事務所 農業農村整備部HP 該記事URL・QRコード〉

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-sgsin-ns/210401.html>



宮城県東部地方振興事務所 農業農村整備部（編集：農村振興班）
〒986-0850 石巻市あゆみ野五丁目7番地
（宮城県石巻合同庁舎4階）

Tel 0225(95)1411（内）2631

Fax 0225(96)4880

E-mail et-ss-nos@pref.miyagi.lg.jp

URL <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-sgsin-ns/>



▲部HP